

超難関 国家資格

大学入試レベル!

# 危険物取扱者甲種



# 名合格

平成30年度 危険物合格状況 ※3回合計

類	1類	2類	3類	4類	5類	6類
合格者数	36	25	25	48	25	32
合格率	47.4%	56.8%	54.3%	31.8%	46.3%	42.1%

## 危険物取扱者とは

消防法で規定する危険物の取り扱い・定期点検・保安の監督を行うために必要な国家資格です。扱える危険物の種類によって、甲種・乙種・丙種に区分されている。危険物取扱者試験は一般財団法人消防危険物研究センターが実施しており、高校生は6月、11月、2月の計3回、行われています。

一高電気科では、1年生の6月の第1回試験に全員が乙種第4類に挑戦し、約半数の生徒が合格しています。

この乙種第4類は、ガソリンや灯油、軽油、植物油など生活に欠かせない危険物を取扱えることができ、最も需要のある資格になっています。試験内容は、法令・基礎・性質それぞれの分野で6割以上正解しないと合格にならないため難易度は高いものになります。

また、乙種を4種類以上取得すれば甲種に挑戦することができます。甲種はすべての危険物を取扱うことができます。今年度は、2年生が過去最高となる3名合格することができました。

来年度以降も上級資格に挑戦する生徒が数多く出てきてくれることを期待しています。



先生に質問攻めで一発合格!



2年 山崎 綺音 東大宮中

私は、危険物甲種を受験したとき、性質について、様々な種類の危険物の色や匂いなどを重点的に勉強しました。今まで受けてきた乙種の範囲が全て入った資格でした。なので覚えるのが大変でした。しかし、分からないところは先生に質問するため何度も足を運びました。その結果、ギリギリでしたが一発で合格することができました! 合格するために大切なことは、分からないところを積極的に先生に聞きに行く行動力です。

苦手意識を克服して合格!



2年 下徳 雄大 赤江中

危険物甲種を受験して大事なことを学びました。それは、毎日コツコツと努力すること、苦手意識をなくすことの2つです。そのために自分はテキストを熟読して、大事なポイントを抑えて問題を作り、それを解いて間違えた問題は必ずすぐやり直しをしました。僕は、これを毎日毎日繰り返して、何十回もやっていました。最初はきつかったですが、無理しすぎず継続することで合格できました。皆さんも頑張ってみてください!

空いた時間も有効活用で合格!



2年 矢野 竜寛 本郷中

僕は、まず1日のノルマを立てて勉強しました。毎日ノルマを立てることで、勉強する習慣が身につきます。私が習慣になるまで、誘惑に負けそうな時もありましたが、遊びと勉強の切り替えをすることで、ノルマを達成してきました。習慣がつくと、空いた時間を有効活用するために、単語帳を作り、いつでもどこでも勉強できるようにしました。2回目の挑戦で合格できた時はうれしかったです。皆さんも1回失敗しても、諦めずに合格できるまで挑戦を続けてください!